



第一版金貳錢 第二版金貳錢 第三版金貳錢 第四版金貳錢 第五版金貳錢 第六版金貳錢 第七版金貳錢 第八版金貳錢 第九版金貳錢 第十版金貳錢

本報社址 常高新聞社 電話六三〇番

刊夕日五月一十

無駄排除と消費節約の優劣

寄書

一、消費節約の缺點

社會の有ゆる生産は總て最終の目的を消費に存せざるものはない。而して其消費たるや飲食物の如く一時の享樂に於て其目的の消失するものあり、或は衣服家屋等の如く相當の期間に亘り繼續的享樂の可能なるものあり、併し是等の後者と雖も早晚使用に堪へざるに

至るべく、即ち其經濟的價値の消盡せらるべきや論を俟たない。故に消費を目的とせざる生産は世間にあることなしと云ふも過言でない、政府の宣傳其他の方法に依り消費節約が盛に行はるゝやうになれば、有ゆる生産品の需要が減縮するに至り多量の生産を爲す者は何れも損失を免れざるを以て何人も生産を手控へ爲に社會の生産總額は其消費總額に自然順應してそれだけ縮小するに至るべきは明かである、故に國內に於て節約したる消費の目的物が直ちに海外に輸出するに可能なる場合は例外であるけれど

ども而も今日我國の現狀に於て國內の消費を節約して直ちに之を外國に輸出し得る物資は果して何ものありや、此方面の需要一向増加せざるに拘らず單に消費を減縮するは是れ即ち全國民の經濟的活動を縮少し生産を抑制し社會國家を窮乏に陥るゝものである。要するに社會の消費と生産とは密接離るべからざる因果關係に立つものであつて其一方のみを減縮して他方を忘却したる現内閣は愚の骨頂である。



和言町目 和久井屋 電話〇五番

三ツ方引 三十圓  
總尺筆筒 九圓  
總尺筆筒 七圓  
總尺筆筒 七圓  
總尺筆筒 七圓  
總尺筆筒 七圓  
總尺筆筒 七圓  
總尺筆筒 七圓  
總尺筆筒 七圓  
總尺筆筒 七圓

冬の大賣出し

御婚禮用品各種  
丸帯、江戸襪、訪問着  
御召、錦紗小紋、袴地  
防寒用品各種  
レデイコート地、ショール  
羅紗オバー、既成コート  
新製ベビー用品陳列  
ベビー洋服、メワヤス肌着  
袖ナシ、男女初着、パンツ各種

磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舖  
平町二丁目(電三)

木村外科專門醫院

花柳科專門  
入院自炊の便あり

平町五丁目橋際  
電話 三〇九番

外科

醫學士 海津俊一  
×光線科 木下寅一  
院長 新妻由五郎

一般外科  
泌尿科  
婦人科

平田町電四七五

母シ儀 永々病氣加療中

之處養生不相叶十一月三日午後三時十分死去致候に付此段辱知各位に謹告仕候

追而來る六日午後零時より全一時迄於自宅告別式相警可申候

昭和四年十一月四日

平町字胡摩澤  
男 大河原金之助  
親戚 小川太森  
友人代 伏見彦衛

江口忠一 平町搔槌小路

東部電力株式會社 平營業所

山崎清三

福多屋 ふとん店 平町二丁目

大黒屋商店 平町三丁目十二番 電話 一一六番

スガノヤ 提灯店 平町四丁目 電話 七一二番

木村石油礦油各種油販賣 榎田榮太郎 磐城國平村木町八番地 電話長二四八 電話(クシ)又ハ(ク)

郡山酸素工場 常磐線一手販賣店 佐藤鐵工場 平町月見町 電話 三六二番

西洋料理 カフェー 松ヶ岡 平町公園前

關内藥舖 藥劑師 關内榮助 福島縣 平町四丁目 電話 四〇〇番 振替仙台六三二六番

祝七週年

### 役場員の出勤を求め 徹底的に道路取締り

#### 交通受難期の平町

けふの宣傳をキツカケに

乗合自動車の増加と共に平町は今や正に交通受難期に遭遇せるの概ある爲め平警察署にては過般來道路無斷使用の者に對し嚴重取締りを爲す處あつたが未だ安心の状態に達するに至らず多年の慣習からか店頭から道路迄商品をウツ高く積み出して平然たる外飾窓及び看板等の突出せるあり是等全町に亘つて實に七十餘軒の多きに及んで居る爲め本日交通安全デーをキツカケに平署員總出にて自動車を飛ばして宣傳ビラを撒布すると共に

#### 査定通り

#### 結局五萬圓

#### 小名濱改修費

小名濱港の來年改修豫算は既報の通り内務省では豫算省議を開いた結果十萬圓の

#### イナゴを取り

#### 石炭を拾ふ

#### 緊縮の痛手を負ふ

世はあけて緊縮のため思ふ程の賃金も得られない所から時宜に適したくないご取りに姿をかへる者が最近減り増加して何處の田圃もいなご取りで大賑はひを呈してゐる

### 危険標示

#### 成績の好い

#### 十五ヶ所に増設

平警察署にては既記の如く自動車事故を防止する一方法として平町に於て交通最も頻繁な街頭三ヶ所を選んで危険標示札を立てたが其後の成績に徴するに右標示札は頗る運轉手の注意心を涵起し交通整理の上に効果

### 訓盲院の縣立昇格

#### けふ町長から請願

#### 盲聾啞學校として

這般の町會の決議に基き現在の警城訓盲院を盲聾啞學校と爲し縣立に昇格されたき旨の左記請願を本日伏見町長から小柳縣知事に提出した

盲學校及聾啞學校令は大正十二年八月勅令第三七五號を以て發布せられ既に六年を経過し愈々昭和五年に於て同勅令第二條若くは附則第二項に依り夫々のが計劃準備中の事と被存候而して盲聾啞教育の普及發達を期する下には本縣の地勢に照し縣下に大規模の一校制とな

#### 立憲養正會設立

石城郡下の無産進出は

省も遂に我を折り昨四日當初の査定通り五萬圓を認めることに決定した

#### 兩署火藥取締

平植田兩警察署では陸軍特別大

### 平郵便局新廳舎は

#### 來年七月頃に完成

平郵便局の新廳舎は目下急據工事を急いで居るが國道に面した前方部は來年三月卅一日迄に竣工する共電話交換局其他工務所を收容する後半部は六月卅日に完成の豫定である爲め四丁目の街頭に一偉觀を呈するに至るは來年七月頃であらうと

### 宣傳文押収

#### 出版物違反で

平署特高課では四日朝警炭礦夫組合事務所から多數の印刷物を押収取調べをなしてゐるが事件は出版法違反らしく同組合が組合加入勧誘のため常警炭礦夫組合に加入せよといふ意味の宣傳をなすべく印刷物を労働者へ配布せんとしたのを平署で發見無罪で頒布せん



よこれた半襟 家庭開

半襟に白粉のついてゐる場合は其處にオレブ油を筆で

演習期日が切迫したので火藥一せい取締を行つた右許可數量以外に購入してをつたもの數件を發見嚴重處分することとなつた

### 右眼に負傷

#### 工場を反対され

平町仲町建築請負業大友事増尾甚一郎(三)は去る二日午後二時頃同町枕製造業吉田ノエ(三)を歐打し右眼に全治一週間を要する傷を負はせ平署に告訴された、尙ほ告訴狀に依れば甚一郎は

#### 女を毆打し

同町に動力機据付の製板所を設置し周囲から非常の反對を受けて居るがノエも其の反對者の一人である處から豫ねて賃金になつて居た硝子戸製作代を嚴重に督促した爲めノエは支拂を爲さんと甚一郎宅を訪れ二三言葉を交はした末此の暴行を加へられたものであると

### 共産黨事件

#### 記事解禁

新聞記事差止中であつた共産黨事件は本日記事解禁として石城郡小名濱町元町一三丹野一郎三女テツ(三)が擧げられて居るテツは同町小學校卒業後日立礦山病院看護婦見習となり大正九年上京台灣で銃殺された同事件の大立物渡邊政之助の内縁の妻となり種々同事件に介在策動し檢舉されたのであると

### ピッコの女

#### 平町に逃込む

茨城縣多賀郡日立町宮田千二百六十二番地居住佐賀縣生れ鈴木キク(三)は去月三十日午前十時頃無斷家出したが平町方面に入込み或は旅館の女中に住込みたる形跡ありと昨日平警察署に同所鈴木千代吉より平署に捜索方を願出た因にキクは身長五尺位身長で上唇に小傷あり左足が稍跛であると

### 基督教の 教化大講演

#### 南町の教會で

平町南町日本基督教會では來る六日午後七時半より教化總動員の特別大講演會を開催し日本基督教本部特派講師傳道局文書局主事門馬紫苑氏の「神の榮光を目標して」と題する講演ある由

### 兎の耳

遠曆の日までに子供が三十人、今年還曆に達した英國のウイリアムロビンソン君は一九一九年以來十一年間失業して居る貧乏人だ、供を生ませる事に

訂正。昨報「平婦人會が香奠返し決議」のミダシは「香奠返し廢止の決議」にて廢止の二文字脱落せるを以て訂正す

時計常盤屋 電三三九